

種山ヶ原は今 56

今年 2 回目の草刈り完了！

7 月 20 日から始まった種山ヶ原の整備活動も 5 日に物見山の草刈りを終え、無事何事もなく終わることができた。物見山山頂で食べたアイスクリームは格別だった。物見山だけに岩手山は見えなかったが、360 度の観望はいっつ見ても素晴らしい。今回の協力者は菊池敬、千葉光、千田伸、千田義、山崎の 5 人。平均年齢約 80 才。3 日には、千葉光氏と賢治の森の草刈り作業日程を作るために、賢治の森に行ってみると、市役所の地域づくり課の若い人たちが賢治の森の草刈りをしていた。なんとうれしいことか。今、農家は自分の田の草刈りで大変な時期で、協力者を募るのが大変な時期だけにとてもうれしかった。今回は延べ人数 26 名で終わることができた。



「雲のながで(中で)刈った草は～」のように



種山ヶ原の夏の草花

「山人参」と言うらしい。今、庭に彩りを添えているレースフラワーのもらしい。凛と伸びて、気持ちのいい草花だ。下の黄色い花は「ハンゴンソウ(反魂草)」で、繁殖力が強く、どこでも困っている花だ。漢字の名前も何か強いイメージ

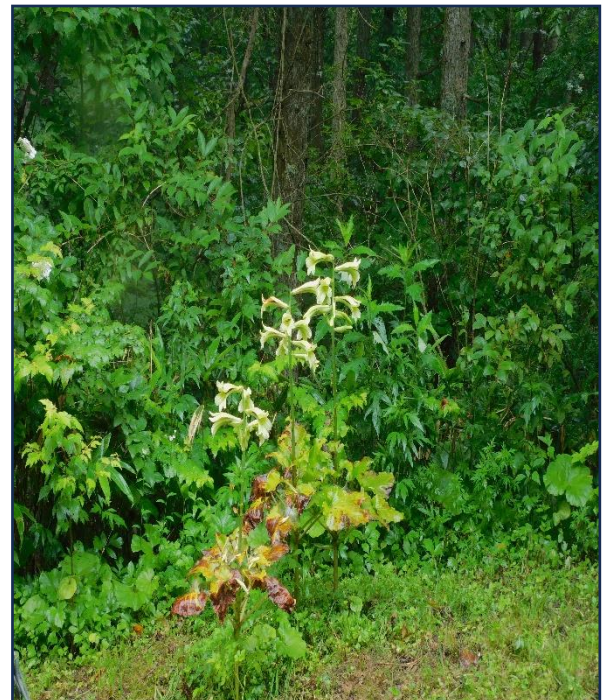


「ヤマユリ」

種山ヶ原ほど山百合の咲く高原はないと思うぐらい咲いている。

「ウバユリ」

名前がかわいそう。姫君のお世話する姿です。控えめでいながら凛とした姿は良い



賢治の森の入口

「やまなし」

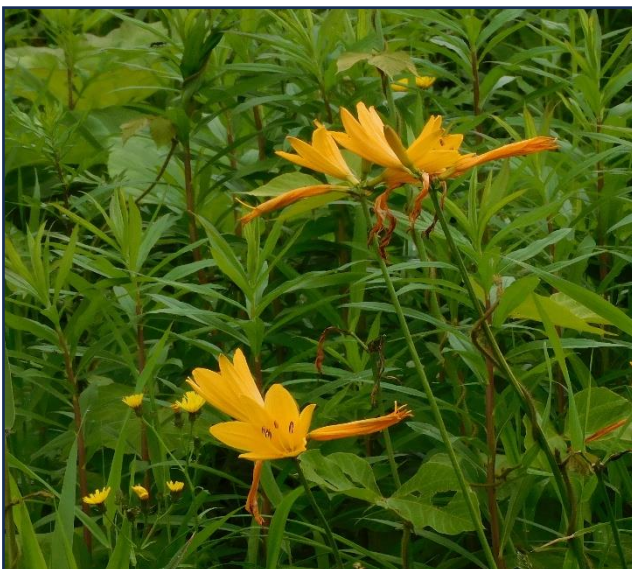
春白い花が咲き、木が真っ白になるくらいに。



「ネジバナ」欄の一種
昨年から妙に増えている。



「野甘草（のかんぞう）」
最近めっきり減ってきた。



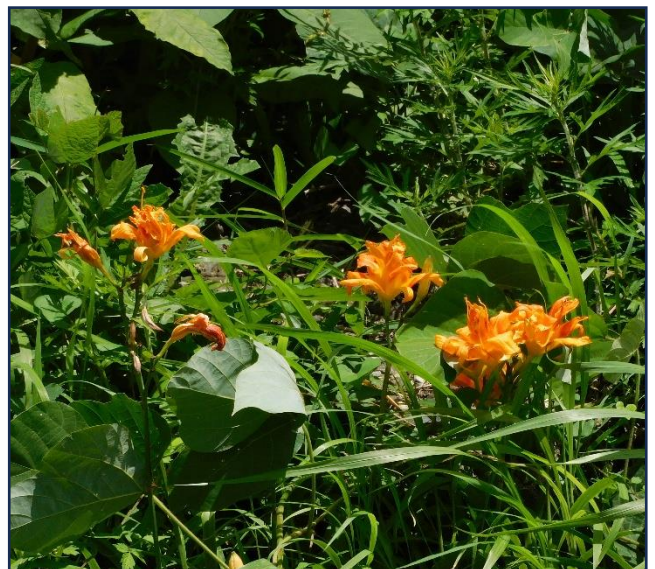
やがて小さな実をつけ、秋を待つ。あの甘い香りが熊を呼ぶ



「ギボウシ」
平地と違って、幾分小さい



「ヤブカンゾウ」八重咲き
ほとんどヤブカンゾウになっている



7月13日「江刺ひがしこども園」の子ども達が教会の鐘を鳴らしたいということで訪ねてくれた。あまり人が訪ねてくるところではないので慌てて草刈り等して待っていた。10人位かなと思っていたら30人程で、とてもうれしかった。写真を撮ってくれた人が、パソコンで漫画のようにしてくれた。今は進んでいるんですね。ついて行かないと・・・。



種山に「〇〇の鐘」が

市の地域づくり推進課の人達が「クマよけ」も兼ねて物見山に登る途中にある東屋に鐘を設置。

私達も宮沢賢治の農民芸術概論綱領の「世界が全体幸福にならないうちは 個人の幸福はあり得ない」のことばに、いつか「幸せの」の塔を作ろうと計画していました。まずは地域づくり推進課の方々と話し合いをして次の手立てをと考えようと思います。